


イワクラ調査票

提出月日 2016年 5月 3日

受付番号 A00060

整理番号 290019

単独・群	概要（遺物・伝承）
<input type="checkbox"/> 単独のイワクラ <input type="checkbox"/> イワクラ群	村文化財 【村史から】 北野牛ヶ峯の地には巨岩大石が累積しており、一枚岩の巨石が自然の節理によって分裂したもので、上方のものを枡形岩、下方のものを岩屋と言う。 上方に屹立した断崖絶壁には枡の形を切り込み（枡形）、その中に下方の岩屋の上部の大日如来を彫った鑿と玄能 が納められていたという。
名称	
牛ヶ峰の枡形岩	
公開可否	
公開	
所在地	参考資料文献（文献・書籍・ホームページ）
奈良県山辺郡山添村北野 牛ヶ峰山中 布目湖右岸山頂付近にある この 20m 下方に岩屋有	山添村村史
GPSデータ	
34.695010, 135.986476	
写真	
	情報提供者 柳原輝明 その他 【イワクラ（磐座）学会の解釈】 今日の解釈として、上部枡形岩は、布目川から見通される位置にあり、その平面は西方の丹生神社の方向を指し示している。おそらく超古代の丹生交易のためのランドマークではなかろうか。 現在でも西日を受けた壁面が赤く染まるのを見ることが出来る。 学会使用欄 <input checked="" type="checkbox"/> イワクラ認定 <input type="checkbox"/> 暫定イワクラ <input type="checkbox"/> 未イワクラ